

食物アレルギー実態調査について

入学時、調査を実施している



小野 光夫 議員

全国の小・中学校で、給食によるアレルギー症状の出た子どもが、平成23年度は、311件、また、死亡事故も発生している。そこで、本町では実態調査をしているか。

文科省は死亡事故を受け、各市町村に厳格な対応を通知している。本町で何人症状が出ているか。

学校ではない

教育長

自宅では9人症状が出たと聞いている。現在学校ではない。

対応についてマニュアル化しているか

小野議員

保育所・幼稚園・学校において、症状に対しマニュアル化が義務付けられているが、本町ではどうか。

万全の準備対応をしている

教育長

食物アレルギー対応のマニュアルを作成し、また、対応の難しいものについては弁当の持参をお

症状の出た児童、生徒がいたか。

小野議員

教育長

願っている。除去食配膳は万全の注意を払っている。

学力テストの結果と取り組みについて

小野議員

今年度小学校6年、中学校3年を対象に学力テストがあったが、結果と取り組みについて問う。

基礎的知識や表現力が必要

教育長

教科は、国語、算数の2教科で実施し、学校の算数A問題だけが全国や県の平均を上回り、その他は全国、県平均を下回っている。その結果を生かすために、研修会を通じ指導していきたい。

結果の公表について

小野議員

6回連続、学力テスト1位は秋田県である。本県は、下から5位で、公表についてはいろいろ議論されてきたが、11月文科省は各市町村教育委員会が判断して良いとの結論を出した。本町ではどうしているか。

町の広報紙面で公表

教育長

結果を保護者に公表し、また、町の広報紙でも公表している。学校別の公表については序列化の懸念もあり、近隣市町を参考に検討していく。

特定失踪者の事件について

小野議員

昭和46年12月30日に帰省する娘を迎えに行く途中行方不明になられ、大捜索にも関わらず、現在もそのままである。北朝鮮での目撃情報もあり、家族は帰られる日を待ちわびておられる。町長の認識を問う。

家族との再会と真相究明を望む

町長

行方不明の園田さん夫婦は拉致の疑いが否定できない事件で、大変悲惨で1日でも早い、家族との再会と真相究明なされることを望む。

本町での取り組みを問う

小野議員

平成17年6月議会で、早期真相究明及び拉致認定に係る陳情書を、政府の関係機関に提出した。本町での取り組みを問う。

啓発運動に取り組んでいる

町長

娘さんの前山夫妻にも何回もお会いし、大変なご苦労を感じる。本町も、署名活動の支援、人権フェスタで市川健一さんの後援会や、パネル展示会等を行い啓発に取り組んでいる。

今後の支援、取り組みについて

小野議員

娘さんは、現在、鹿屋市に住み、当市で支援陳情書等お願いしておられる。本町での事件であり、風化してはいけない。今後の、本町での支援、取り組みについて問う。

議会と共に支援に取り組む

町長

風化させないためにも、今後もどういった支援が必要なのか、議会とも連携し協力して行く。
※その他の質問
・教育委員会のあり方について
・毎月の定例会は、どこで開催されているのか。
・どのような協議がなされ、どのように問題解決しているか。
・独立した行政委員会として議会に諸般の報告は出来ないか。
・現在の教育行政の課題について